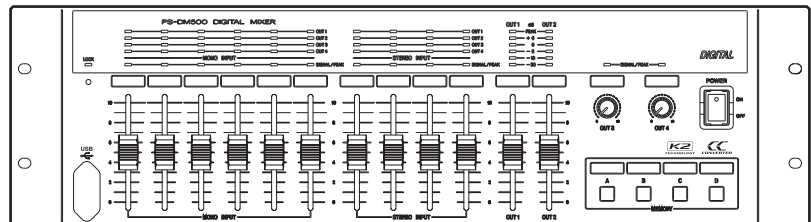


JVC

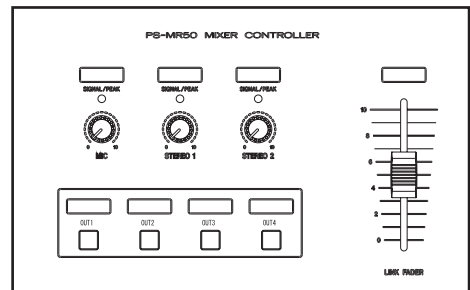
デジタルミキサー / ミキサーコントローラー

型名 **PS-DM500**
PS-MR50

取扱説明書



デジタルミキサー
PS-DM500



ミキサーコントローラー
PS-MR50



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

特長

デジタル音声の音質向上を迫及する K2 テクノロジー

K2 テクノロジーは、デジタル信号の伝送過程やメディアに起因する音質劣化の要因を解消させ、自然な再生を可能とするコーディング技術です。

CC コンバーター搭載

当社独自の Extended K2 技術から生まれた CC コンバーターを搭載。

デジタル入力信号に対して、サンプリング前のアナログ原音信号を想定しながらハイビット（高量子化）・ハイサンプリング（広帯域化）処理をすることで、高音質化処理能力をたかめました。

プリセット型 16 パターンメモリー搭載

多用する設定をパターン化し、メモリーに記憶することで設定変更への対応が簡単にできます。

トランス採用の入力回路を搭載

コンピューター音声などの接続用として、優れたアイソレーショントランスを有する入力回路を 1 回路搭載しています。

ミキサーコントローラー PS-MR50 (別売) による遠隔入力 / 制御可能

入力信号（マイク・音楽入力）や、出力選択、音量調節などをリモートコントロールできます。

天面設置 / 前面設置に対応

接続端子部は設置方法や利用方法に応じて背面、上面に移動して利用できます。

多彩なパラメータープリセット型 デジタルエフェクター内蔵

■ デジタルイコライザー

MONO INPUT すべての入力系統に LOW、HIGH、MID のデジタルイコライザー、STEREO INPUT すべての入力系統に LOW、HIGH のデジタルイコライザーを搭載しています。

OUTPUT 系統には、最大 6 素子のデジタルイコライザーを搭載しており、システムに対応した最適なフィルターを選択できます。

また、周波数 (F)、尖鋭度 (Q)、利得 (G) などが設定できる極めて自由度の高いイコライザーシステムを搭載しています。

■ 多様なハウリングサプレッサー内蔵

自動設定できる 4 素子のプリセットフィルターを内蔵しています。

また、運用中に発生するハウリングには、内蔵 2 素子のアクティブフィルターが音声信号を常時監視し、ハウリング発生を自動抑制し、快適なサウンドシステムを演出します。

■ 自動ミュート機能

アナウンスミュート機能・ミュージックミュート機能は、必要なマイク放送・音楽放送が入力されると自動的に指定した音源をミュートしますので、的確な放送演出が行えます。

■ デジタルディレイ

各出力系統の遅延時間の設定ができます。


この機能により各出力の遅延時間を調整することで、音の到達時間差異を改善できます。そのため、確かな音像定位とクリアな高音質サウンドシステムを実現しました。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

● 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

● 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。

● 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに	
特長	2
正しくお使いいただくためのご注意	3
デジタルミキサー PS-DM500	
各部の名称とはたらき	4
操作部	4
接続端子部	6
ミキサーコントローラー PS-MR50 (別売)	
各部の名称とはたらき	7
操作部	7
接続端子部	8
接続	
接続コネクタおよびケーブルについて	9
MONO INPUT の接続	9
REMOTE I/O 端子の接続 (D-SUB 25P)	9
接続端子部の移動	10
デジタルミキサー PS-DM500	10
ミキサーコントローラー PS-MR50	10
設置場所への固定 (PS-MR50)	10
システム設定	
デジタルエフェクト機能について	11
MONO INPUT TRIM (モノインプットトリム)	11
MONO INPUT EQ (モノラル入カイクライザー)	11
STEREO INPUT EQ (ステレオ入カイクライザー)	11
MATRIX (マトリックス)	11
ハウリングサプレッサー (H.SUP)	11
アナウンスミュート (A.MUTING)	12
ミュージックミュート (M.MUTING)	12
OUTPUT EQ (アウトプットイコライザー)	12
DELAY (ディレイ)	12
OUT1・OUT2 出力形式選択 (MONO/STEREO)	13
A/B バランス (OUTPUT1, 2 の各 A / B)	13
外部入力制御 (リモートイン)	13
外部出力制御 (リモートアウト)	13
パターンメモリー	13
システム設定準備の手順	13
その他	
ブロック図	14
システム接続例	16
仕様	17
デジタルミキサー (PS-DM500)	17
ミキサーコントローラー (PS-MR50/ 別売)	18
保証とアフターサービス	19

正しくお使いいただくための ご注意

保管および使用場所

- 次のような場所での保管・使用は避けてください。不安定な動作や故障の原因となることがあります。
 - ・ 許容動作温度 (5℃～40℃) の範囲外の場所
 - ・ 許容動作湿度 (30%～85%) の範囲外の場所
 - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気を発生する場所
 - ・ 埃や砂塵の多い場所、振動や揺れが激しい場所
 - ・ 放射線や X 線、腐食性ガスの発生する場所

配線について

- 電源コードやスピーカー線などの電力線とマイクケーブルの信号線はできるだけ離して設置してください。信号線に電線からのノイズや誘導による影響があり、本来の性能が著しく悪化します。

電源スイッチの ON (入)、OFF (切) について

- 電源を入れるときはパワーアンプの電源を最後に入れてください。また、切るときはパワーアンプの電源を最初に切ってください。電源入り切り時のノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

省エネについて

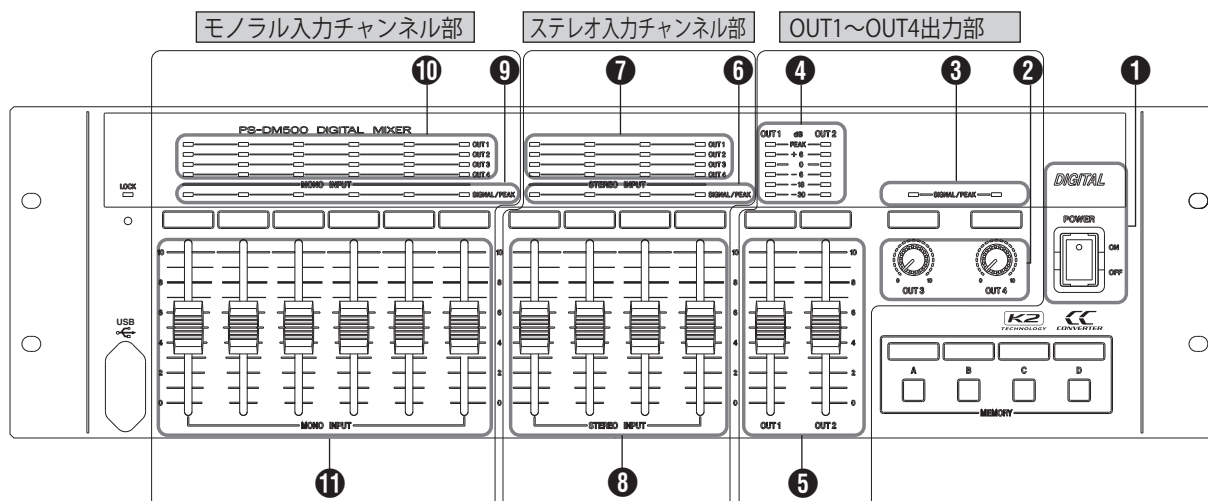
- 節電のため長時間使用しないときは、電源スイッチを切って (OFF) ください。

取扱説明書・ユーザーズガイドについて

- 取扱説明書 (本書)
操作部名称と機能、接続端子、仕様などを説明していますので、基本的な操作や接続をご理解いただけます。
- ユーザーズガイド (添付 CD-ROM)
ユーザーズガイドには、デジタルミキサー PS-DM500 に搭載しているデジタルエフェクト機能やコントロール機能をパソコンから設定するソフトウェア「サウンドコーディネーター」およびシステム設定の詳細方法について説明した HTML ファイルを収録しています。「サウンドコーディネーター」インストール後は、パソコンから閲覧できます。本機のデジタルエフェクト機能を有効に利用していただくために、必ずご覧ください。設定を行わないと工場出荷状態で動作します。

各部の名称とはたらき

操作部



① [POWER/DIGITAL] 電源 ON/OFF スイッチ およびランプ

電源 ON/OFF スイッチです。ON にすると “DIGITAL” の文字が点灯します。

OUT1 ~ OUT4 出力部

② [OUT3、OUT4] OUT3、OUT4 出力音量調節つまみ

OUT3、OUT4 の出力音量を調節します。

③ [SIGNAL/PEAK] OUT3、OUT4 出力信号ランプ

OUT3、OUT4 の出力信号のレベルを表示します。

④ [OUT1、OUT2] 出力レベルメーター

OUT1、OUT2 の出力信号のレベルを表示します。

⑤ [OUT1、OUT2] OUT1、OUT2 出力音量調節フェーダーつまみ

OUT1、OUT2 の出力音量を調節します。

STEREO INPUT ステレオ入力チャンネル部

⑥ [SIGNAL/PEAK] STEREO INPUT 入力信号ランプ

STEREO INPUT に信号が入力されると緑色に点灯します。赤色に点灯した場合は入力信号のレベルが過大です。入力機器の出力レベルを下げてください。

⑦ [OUT1 ~ OUT4] STEREO INPUT/ アウトプットマトリックスランプ

マトリックスが出力される系統はオレンジ色に点灯します。

⑧ [STEREO INPUT] STEREO INPUT フェーダーつまみ

CD、カセット、MD などのステレオ入力信号音量を調節します。

MONO INPUT モノラル入力チャンネル部

⑨ [SIGNAL/PEAK] MONO INPUT 入力信号ランプ

MONO INPUT に信号が入力されると緑色に点灯します。ランプが赤色に点灯した場合は、入力信号のレベルが過大です。入力機器の出力レベルを下げるか、本機背面の入力 PAD ボタン (6 ページ ①) を “ON” にして入力信号を減衰させてお使いください。

⑩ [MONO INPUT OUT1 ~ OUT4] MONO INPUT/ アウトプットマトリックスランプ

出力される系統はオレンジ色に点灯します。

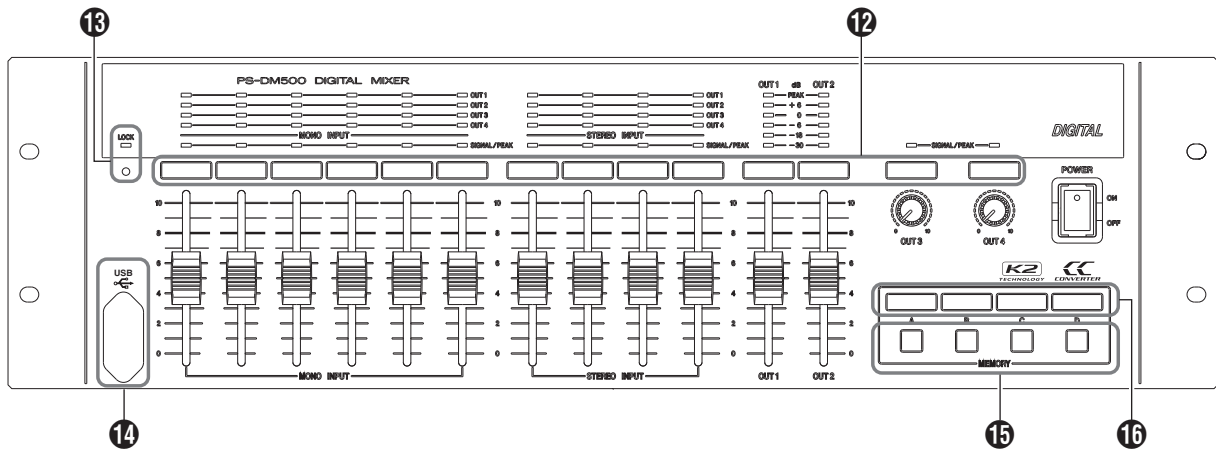
⑪ [MONO INPUT] MONO INPUT フェーダーつまみ

各マイクロホンなど、モノラル入力音量を調節します。

メモ

- アウトプットマトリックスの選択
各アウトプットマトリックス ⑦、⑩ を選択できます。選択は以下の手順で行います。
 - ① 設定するチャンネルのフェーダーつまみを「0」位置へ向って下げながらアウトプットする出力番号に対応したメモリーパターン切換スイッチ ⑮ を 3 秒以上押しつづけます。“A” は OUT1、“B” は OUT2、“C” は OUT3、“D” は OUT4
 - ② 各入力チャンネルに設定します。
 - ③ 出力する OUTPUT 番号のマトリックスランプが点灯します。
- ※ 本機能で設定した内容は、内部メモリーに保存されません。電源を入れなおすと解除されます。

操作部 (つづき)



12 入力および出力機器名称表示部

入力および出力機器の名称を表示する場所です。
 入力機器名称部には、マイクロホン番号・CD・カセット・MDなどの接続機器名称、出力名称表示部には出力チャンネル名・パワーアンプラック番号・スピーカー名などシステムに対応した出力名称を表示します。
 ラベルテープなどでシールを作成し、はり付けてご使用ください。表示部のサイズは、幅 18 mm × 高さ 6mm です。

13 [LOCK] ロックスイッチ

フェーダーつまみ、メモリーパターン切換スイッチの動作を無効にするスイッチです。
 音量調節およびパターン選択設定後に、ロックスイッチを先端の細い棒で押します。ロック表示灯が“赤色”点灯し、フェーダーつまみやパターンスイッチによる操作ができなくなります。(ロック状態：ロック表示灯点灯)
 再度、ロックスイッチを押すとフェーダーつまみ、メモリーパターン切換スイッチの操作が有効になります。(ロック解除状態：ロック表示灯消灯)
 「サウンドコーディネーター」により、ロック状態でもフェーダー操作を有効にできます。
 ロック状態にしてから電源を切り、再度電源を入れるとロックした時点のメモリーパターンが呼び出されます。
 ロックする場合、「サウンドコーディネーター」でメモリーパターンを保存してから行ってください。

14 [USB] パソコン接続端子 (USB Type B)

「サウンドコーディネーター」によるシステム設定時に使用するパソコンとの接続端子 (USB) です。

※ 背面部の「RS-232C」端子 (6 ページ) と同時に使用することはできません。

15 [MEMORY A, B, C, D] メモリーパターン切換スイッチ

- **メモリーパターンの呼び出し**
 約 2 秒間長押しすると、各スイッチに割り付けられたパターンが呼び出され、設定されたパラメーターに瞬時に切り換わります。
 各スイッチへのパターン設定は、「サウンドコーディネーター」で行います。工場出荷時、A ~ D には同一パターンを記録してあります。(11 ~ 13 ページ)

メモ

- メモリーパターン切換スイッチを長押しすると点灯します。本機の電源を切り、次に電源を入れると消灯しますが、設定は維持されています。

16 パターン名称表示部

パターンの名称を表示できます。
 メモリーパターン切換スイッチ 15 に設定されている各パターンの名称を表示します。
 ラベルテープなどでシールを作成し、はり付けてご使用ください。表示部のサイズは、幅 18 mm × 高さ 6mm です。

メモ

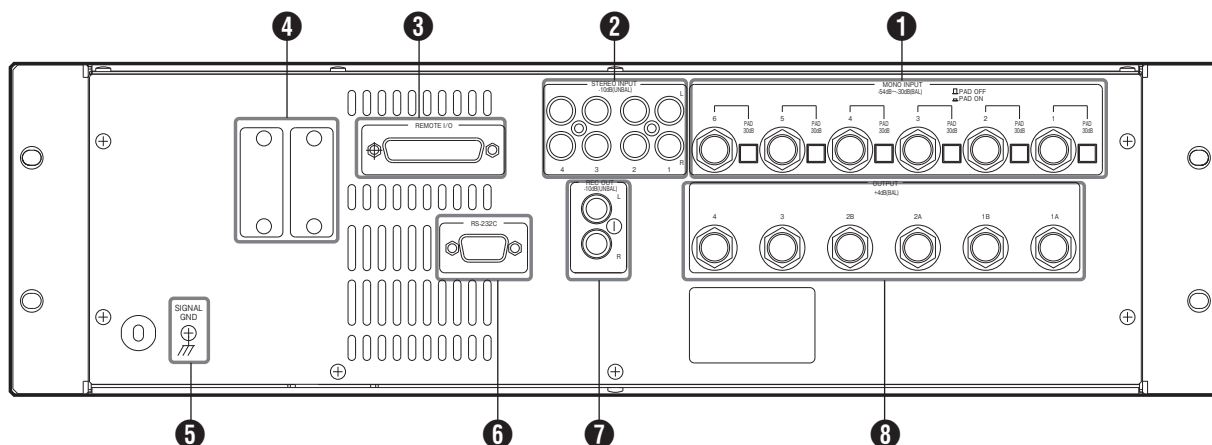
- ロックスイッチ 13 で、ロックした位置より大きな音量位置で解除した場合、ロック時の音量が保持されています。
 ロック解除後、音量を上げたい場合は、一度、ロックした位置より下げたから、音量調節をしてください。

各部の名称とはたらき (つづき)

接続端子部

設置する場所により、接続端子部を移動させることができます。(P.10 ページ)

接続コネクタおよびケーブルの詳細につきましては、「接続コネクタおよび ケーブルについて」(P.9 ページ)をご覧ください。



① [MONO INPUT 1 ~ 6] モノラル入力端子 1 ~ 6
(φ6.3 複式フォンジャック)

マイクロホンなどのモノラル出力機器を接続します。
PC 音声は MONO INPUT6 に接続してください。

[PAD 30 dB] 入力 PAD ボタン

ボタンを押すと、入力感度を 30 dB 減衰させます。
ワイヤレスチューナーなど、信号レベルの大きい機器を接続するときに使用します。

② [STEREO INPUT 1, 2, 3, 4] ステレオ入力端子 1, 2, 3, 4 (ステレオピンジャック)

カセットデッキや CD プレーヤーなどのステレオ出力機器を接続します。

③ [REMOTE I/O] リモートイン / アウト端子
(D-SUB 25P メス)

外部からの入出力制御信号の接続端子です。(P.9 ページ)

④ [MR IN1, 2] ミキサーコントローラー入力端子 1, 2 (RJ-45 モジュラー)

(別売) ミキサーコントローラー PS-MR50 を接続時 I/F 基板を取り付けます。その場合、PS-DM500 の内部接続が必要です。お買い上げの販売店またはサービス窓口へご相談ください。

⑤ [SIGNAL GND] 接地端子

システム配線時に、機器同士のシャーシアースをとる場合に使用します。不用意に接地しますとハム音などの原因になります。
安全アースではありません。

⑥ [RS-232C] RS-232C 端子 (D-SUB 9P オス)

本機とパソコンを接続し、「サウンドコーディネーター」による設定をするときに使用します。

※操作部の USB 端子 (P.5 ページ) と同時に使用することはできません。

⑦ [REC OUT] 録音用アナログ信号出力端子
(ステレオピンジャック)

カセットデッキなどへの録音用アナログ信号出力端子です。

⑧ [OUTPUT 1A, 1B, 2A, 2B, 3, 4] ミキサー出力端子 (φ6.3 複式フォンジャック)

ミキサー出力でパワーアンプなどへ接続します。

メモ

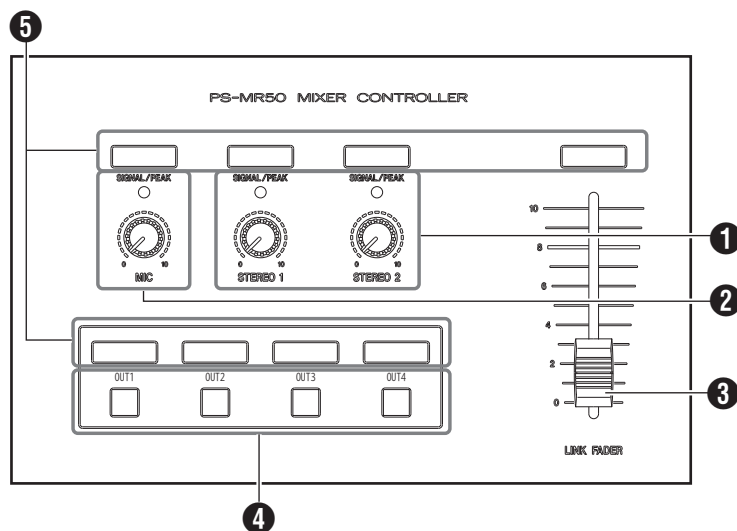
録音端子使用時のご注意

- MD デッキなどで録音用の出力端子とステレオ入力端子を同時に接続すると、信号がループして発振します。その場合は、マトリックスの設定で、入力端子の録音システムへのアサインを OFF にしてご使用ください。

各部の名称とはたらき

ミキサーコントローラー PS-MR50 を使用する場合、デジタルミキサー PS-DM500 の内部接続が必要ですので、お買い上げの販売店またはサービス窓口へご相談ください。

操作部



① [STEREO 1, 2] [SIGNAL/PEAK] ステレオ 1, 2 音量調節ボリューム／ステレオ 1, 2 入力信号ランプ

本機に接続する CD プレーヤー、カセットデッキなどの音量を調節します。SIGNAL/PEAK ランプが赤色点灯した場合は、入力レベルが過大です。緑色に点灯するよう調節してください。

② [MIC] [SIGNAL/PEAK] マイク音量調節ボリューム／マイク出力信号ランプ

本機に接続したマイクロホンの音量を調節します。SIGNAL/PEAK ランプが赤色点灯した場合は入力レベルが過大です。緑色に点灯するよう調節してください。

③ [LINK FADER] リモート音量フェーダーつまみ
PS-MR50 を接続した PS-DM500 の出力音量を調節します。「サウンドコーディネーター」で本機から音量調節できる出力先を設定します。

④ [OUT1 ~ OUT4] 出力選択ボタン

PS-MR50 の音声信号の出力先を選択します。約 1 秒間押しとランプが点灯しその出力系統に本機の信号が出力されます。再度約 1 秒間押しと、ランプが消灯し、出力されなくなります。

複数の出力先を選択することもできます。また、「サウンドコーディネーター」で本機のマイク信号のみやステレオ信号のみを選択することもできます。

メモ

- 出力選択ボタンは、「サウンドコーディネーター」の SW LINK の設定によって、選択できる入力異なります。

SW LINK OFF 時 : マイク入力、ステレオ入力を出力。

SW LINK ON 時 : マイク入力を出力。ステレオ入力は「サウンドコーディネーター」のマトリックス画面で出力選択できます。

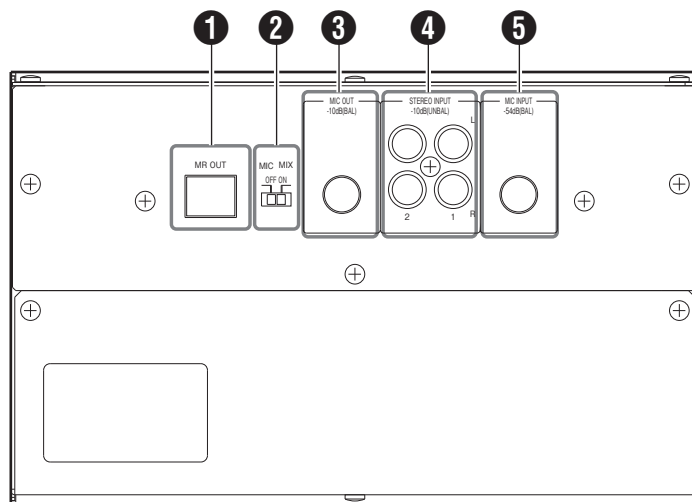
⑤ 名称表示部

入力および出力機器の名称を表示する場所です。ラベルテープなどでシールを作成し、はり付けてご使用ください。表示部のサイズは、幅 18 mm × 高さ 6mm です。

各部の名称とはたらき (つづき)

接続端子部

設置する場所により、接続端子部を移動できます。(P. 10 ページ)



① [MR OUT] デジタル信号入出力端子
(RJ-45 モジュラー)

PS-MR50 のデジタル信号入出力端子です。PS-DM500 との接続ケーブルはストレート結線のシールド付カテゴリ5 (STP) を使用してください。ケーブル長は、100 m 以下でご使用ください。

② [MIC MIX ON/OFF] マイクミックス ON/OFF スイッチ

マイクロホン信号とステレオ信号を混合 (MIX) して PS-DM500 へ送出するときは “ON” にします。このときは、PS-MR50 へ接続のマイクロホンにはハウリングサプレッサー機能が使用できません。

③ [MIC OUT] マイク出力端子
(複式フォンジャック)

マイクロホンの信号が出力されます。
PS-MR50 接続のマイクロホンにハウリングサプレッサー機能を有効にするときは、PS-DM500 の MONO INPUT へ平衡接続します。このとき、② MIC MIX ON/OFF スイッチは “OFF” に設定してください。
PS-DM500 の MR IN 1 へ接続した PS-MR50 は MONO 1 に接続します。MR IN 2 に接続した 2 台目の PS-MR50 は、MONO 2 へ接続します。
PS-MR50 の出力選択ボタンでマイクロホンの出力先を選択できます。出力先の設定は、サウンドコーディネーターで行います。

④ [STEREO INPUT] ステレオ入力端子
(ステレオピンジャック)

CD プレーヤー、カセットデッキなどを接続します。

⑤ [MIC INPUT] マイク入力端子
(φ6.3 複式フォンジャック)

平衡型マイクロホンを複式フォンプラグで接続します。
※不平衡フォンプラグ (単頭) は接続しないでください。
マイクロホンの詳細につきましては、ご使用のマイクロホンの取扱説明書をご覧ください。

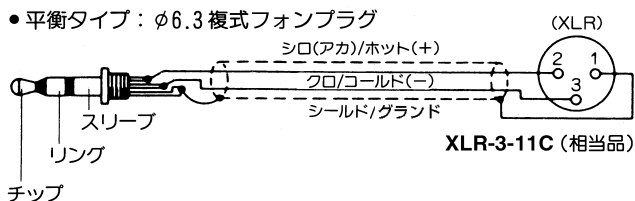
メモ

- 接続コネクターおよびケーブルの詳細につきましては、「接続コネクターおよびケーブルについて」(P. 9 ページ) をご覧ください。

接続コネクタおよびケーブルについて

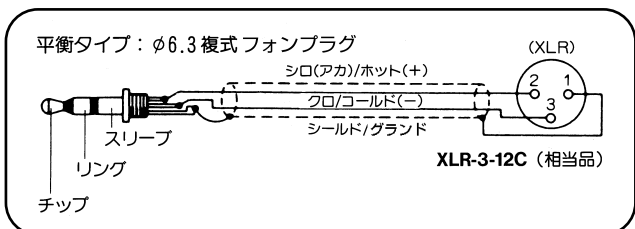
MONO INPUT の接続

- マイクロホンなどは平衡タイプをご使用ください。接続ケーブルを製作するときには、下図を参考に平衡接続とさせていただきます。



メモ

- 入力信号ランプが“赤色”に点灯した場合、入力信号レベルが過大です。入力機器の出力レベルを下げるか、PS-DM500 背面の入力 PAD スイッチ (30 dB) を“ON”にし、入力信号ランプが“緑色”に点灯するよう入力機器の出力レベルを調整してください。また、「サウンドコーディネーター」の、INPUT TRIM (入力感度) で細かく設定できます。(※ PS-DM500 添付 CD-ROM)
- パワーアンプの入力コネクタが、XLR コネクタ (平衡入力) の場合は、下図のような接続ケーブルをご使用ください。

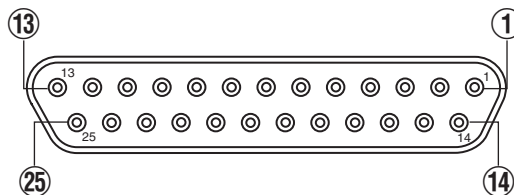


CN-5003 フォンプラグ

- φ6.3 複式
-
- 10m
- XLR-3-12C (相当品)

REMOTE I/O 端子の接続 (D-SUB 25P)

D-SUB25P(オス) ピン配置 [半田接続面]



ピン番号	内容	ピン番号	内容
1, 2	GND	22, 23	GND
3 ~ 10	パターン選択入力-1 ~ -8	24	P.R.-H
11 ~ 13	GND	25	P.R.-C
14 ~ 21	出力-1 ~ -8		

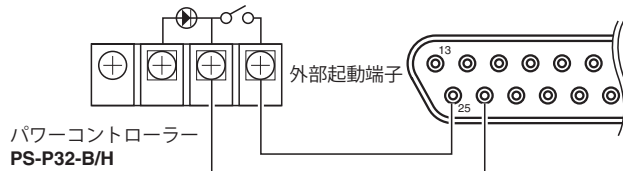
■ パターンセレクター PS-VU16 の接続

● PS-VU16
PATTERN CONTROL 端子

● PS-DM500
REMOTE I/O 端子

内 容	ピン番号	ピン番号	内 容
GND	1	2	GND
BIT 1	2	3	パターン選択入力-1
BIT 2	3	4	パターン選択入力-2
BIT 3	4	5	パターン選択入力-3
BIT 4	5	6	パターン選択入力-4
BIT 2桁目	6	7	パターン選択入力-5
未接続	7	8	パターン選択入力-6
ストロープ	8		

- 接続ワイヤーには、AWG 24 撚り線をご使用ください。ケーブル長は最大 50 m です。
- 入力制御は、パターン選択入力-1 ~ 8 の端子と GND を短絡すると、メモリーに設定されたパターン 1 ~ 8 に切り換わります。パターンセレクター PS-VU16 (別売) を接続すると、16 パターンを切り換えることができます。その場合、「サウンドコーディネーター」で、パターンセレクター (PS-VU16) の使用設定を行なってください。
- リモートアウト 1 ~ 8 端子は、「サウンドコーディネーター」で、パターンごとに設定された状態が出力されます。(オープンコレクター：MAX35 V, 30 mA)
- 24：P.R.-H、25：P.R.-C は、パワーコントローラー PS-P32-B、PS-P32-H 制御用端子です。接続は下図をご覧ください。接続可能台数は、最大で 1 台です。



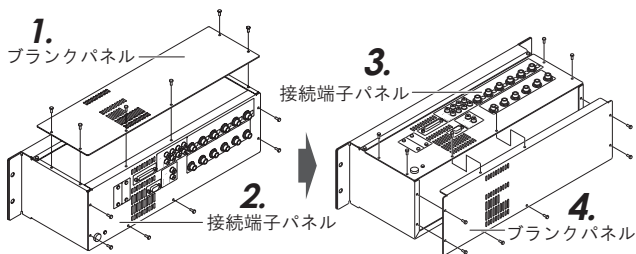
メモ

- リモートイン/アウト端子と機器の接続は、お買い上げ販売店、または、最寄りのサービス窓口へご相談ください。

接続端子部の移動

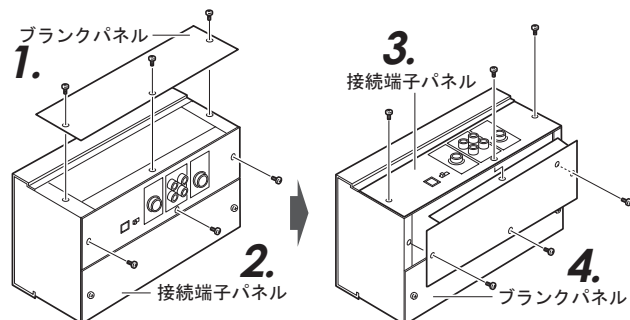
デジタルミキサー PS-DM500

1. 移動先のブランクパネルのねじをはずし、ブランクパネルをはずす。
2. 接続端子パネルのねじをはずす。
3. 内部のワイヤーに注意しながら接続端子パネルを移動し、ねじで固定する。
4. 手順 1. ではずしたブランクパネルを接続端子パネルのあった位置にねじで固定する。



ミキサーコントローラー PS-MR50

1. 移動先のブランクパネルのねじをはずし、ブランクパネルをはずす。
2. 接続端子パネルのねじをはずす。
3. 内部のワイヤーに注意しながら接続端子パネルを移動し、ねじで固定する。
4. 手順 1. ではずしたブランクパネルを接続端子パネルのあった位置にねじで固定する。

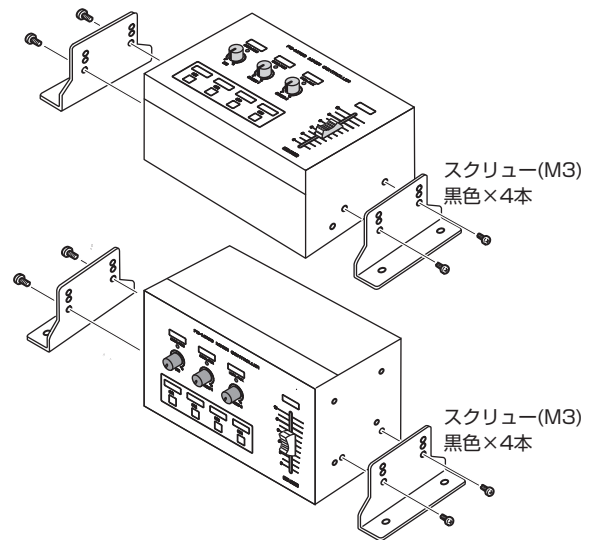


設置場所への固定 (PS-MR50)

- ミキサーコントローラー PS-MR50 を固定するときは、付属の固定用金具を使用して固定します。
- 固定用金具は、取り付け位置により水平：10°、15°の角度調節が可能です。

メモ

- テーブルなどに埋め込み固定するときは、別売のラックマウント金具 PS-RU13 をご使用ください。



デジタルエフェクト機能について

PS-DM500 に添付の CD-ROM に収録されているシステム設定用ソフトウェア「サウンドコーディネーター」を使用し、PS-DM500 搭載のデジタルエフェクト機能を細かく設定できます。

お客様の使用状態に合わせた以下の代表的な設定例を「サウンドコーディネーター」に登録してあります。

- 中小規模体育館向け〈メインスピーカー+サブスピーカーの組み合わせシステム〉
- アミューズメント店舗向け〈ステレオ 2 元システム〉
- 遠隔会議システム向け〈メインスピーカー+サブスピーカーの組み合わせシステム〉

「サウンドコーディネーター」を使用してこれらのデータをご利用いただくと便利です。

詳しい機能および設定については、添付 CD-ROM の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

■ デジタルエフェクト機能の概要と工場出荷時設定状態

MONO INPUT TRIM (モノインプットリム)

入力信号を減衰させるトリムを、MONO INPUT 1 ~ 6 に搭載しています。

機能	内蔵回路	設定範囲	工場出荷時
INPUT TRIM (入力感度)	MONO INPUT 1 ~ 6	-54 dB ~ -30 dB	-40 dB

MONO INPUT EQ (モノラル入カイコライザー)

(モノラル入カイコライザー)

モノ入力ごとに搭載しています。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ	工場出荷時
LOW シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数	40 Hz ~ 2 kHz、1/6 oct Step	100 Hz
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、0.5 dB Step	0 dB
MID ピーキングタイプ EQ	中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz、1/6 oct Step	2 kHz
	尖鋭度 (Q)	0.5 ~ 1.5、0.1 Step 1.5 ~ 5.0、0.5 Step 5.0 ~ 10.0、1.0 Step、12.0	0.7
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、0.5 dB Step	0 dB
HIGH シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数	2 kHz ~ 18 kHz、1/6 oct Step	10 kHz
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、0.5 dB Step	0 dB

STEREO INPUT EQ

(ステレオ入カイコライザー)

ステレオ入力ごとに搭載しています。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ	工場出荷時
LOW シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数	40 Hz ~ 2 kHz、1/6 oct Step	100 Hz
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、0.5 dB Step	0 dB
HIGH シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数	2 kHz ~ 18 kHz、1/6 oct Step	10 kHz
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、0.5 dB Step	0 dB

MATRIX (マトリックス)

MONO INPUT、STEREO INPUT を設定します。

(工場出荷時: OUT1 ~ 4 すべて ON, REC OUT は、OUT1 のみ ON)

ハウリングサプレッサー (H.SUP)

音場の残響特性、伝送特性など固有のハウリング周波数や抑圧レベルを分析して、プリセットフィルター 4 素子を設定し、音場固有のハウリングを抑制します。システム使用中にハウリングが発生すると 2 素子のアクティブフィルターが自動的に追従 (自動計測) し、ハウリングを抑制します。また、自動計測は、「サウンドコーディネーター」からでも実行できます。

(工場出荷時: ON、プリセットフィルター未設定)

ご注意

- ハウリングサプレッサーが ON のとき、プリセットフィルター未設定でもアクティブフィルターは動作しますので正弦波やテストトーンなどを使用される場合は、OFF にしてください。

■ ハウリングサプレッサー自動測定手順

1. PS-DM500 の出力音量を調節する

- OUT 1、OUT 2 出力音量調節フェーダーつまみを 8 の位置に設定します。
- OUT 3、OUT 4 出力音量調節つまみを 3 時の位置に設定します。

2. MONO INPUT フェーダーつまみを 8 の位置に設定する

3. パワーアンプの出力音量を調節する

マイクロホンで声を出しながら、パワーアンプの出力音量を少しずつ上げ、必要な音量になるよう調節してください。

* この時、手を“パン”とたたき、ハウリングが発生しないことを確認してください。

4. MONO INPUT フェーダーつまみを 0 の位置に設定する

次のページへつづく

デジタルエフェクト機能について (つづき)

5. 自動測定を行う

PS-DM500 操作部のメモリーパターン切換スイッチ “A”、 “C”、 “D” (5 ページ) を同時に2秒以上押します。

メモリーパターン切換スイッチ “A”、 “C”、 “D” が点灯し、自動測定が始まります。

自動測定が終了すると、スイッチは消灯します。

* 自動測定は、マイクロホンとスピーカーの距離を5 m 以上離し、無音の状態で行なってください。

[自動測定中にエラーになった場合]

メモリーパターン切換スイッチ “A”、 “B”、 “C”、 “D” すべてが点灯した場合は測定エラーです。

機器の破損を防ぐため、自動測定は中止され測定データは無効となります。

測定エラーになった場合は、マイクロホンの向き、スピーカーの向き、パワーアンプの出力音量などを再度調節し、手順 1. からやり直してください。

ご注意

- 拡声レベルが極端に上がっていたり、マイクロホンとスピーカーが接近しすぎていると、PS-DM500 のハウリングサプレッサーの自動計測が正確に行えない場合があります。十分な効果を得るため、自動計測は、本番と同じ状態 (スピーカーやマイクロホンの位置) で行ってください。

アナウンスミュートイング (A.MUTING)

指定した MONO INPUT に音声信号が入ると、自動的に選択したステレオ入力信号 (CD、カセットなど) の音量をミュートイング (減衰) させ、目的のアナウンスを明瞭に放送できます。MONO INPUT の信号がなくなると、自動的に元の音量に戻ります。

アナウンスミュートイングを起動する MONO INPUT の指定、ミュートイング (減衰) 量を設定します。
(工場出荷時: OFF)

ミュージックミュートイング (M.MUTING)

指定の STEREO INPUT に音楽などの信号が入力されると、他の STEREO INPUT に入力されていた音楽などを自動的にフェードアウトします。指定の STEREO INPUT 信号がなくなると、元の音量にフェードインして復旧します。入力の指定は、サウンドコーディネーターで設定します。
(工場出荷時: OFF)

OUTPUT EQ (アウトプットイコライザー)

パワーアンプ、スピーカーシステム、音場などの特性に対応させる出力イコライザーです。

6 素子のイコライザーを出力系統ごとに搭載しています。6 素子を以下の形式から個別に選択できます。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ
ピーキング EQ	中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz、 1/6 oct Step
	尖鋭度 (Q)	0.5 ~ 1.5、 0.1 Step 1.5 ~ 5.0、 0.5 Step 5.0 ~ 10.0、 1.0 Step、12.0
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、 0.5 dB Step
ローカットフィルター (LCF)	カットオフ周波数	40 Hz ~ 18 kHz、 1/6 oct Step
スロープ = -12 dB/oct、 尖鋭度 (Q) = 0.7		
ハイカットフィルター (HCF)	カットオフ周波数	40 Hz ~ 18 kHz、 1/6 oct Step
スロープ = -12 dB/oct、 尖鋭度 (Q) = 0.7		
LOW シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数	40 Hz ~ 18 kHz、 1/6 oct Step
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、 0.5 dB Step
HIGH シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数	40 Hz ~ 18 kHz、 1/6 oct Step
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB、 0.5 dB Step

ピーキング EQ 工場出荷時の値

イコライザー形式	: すべてピーキング EQ
尖鋭度	: すべて 0.7
中心周波数 1	: 40 Hz
中心周波数 2	: 100 Hz
中心周波数 3	: 500 Hz
中心周波数 4	: 2 kHz
中心周波数 5	: 5 kHz
中心周波数 6	: 10 kHz

DELAY (ディレイ)

サブスピーカーへの出力信号をメインスピーカーの出力に対し時間の遅れを発生させ、音像を前面に定位させるなどのディレイ時間を設定します。

機能	内蔵回路	設定範囲とステップ	工場出荷時
DELAY TIME (遅延時間)	OUT-1A、 1B ~ 4	0 ~ 300 ms、 1 ms Step	0 ms

OUT1・OUT2 出力形式選択 (MONO/STEREO)

OUT1、および OUT2 の出力形式をモノラルまたはステレオに選択指定します。

ステレオのときは、A に Lch (左)、B に Rch(右) が出力されます。

(工場出荷時：STEREO)

A/B バランス (OUTPUT1, 2 の各 A / B)

出力 A と出力 B の、出力信号のバランスを設定できます。

機能	内蔵回路	設定範囲	工場出荷時
A/B バランス	OUT1、OUT2	0 dB ~ -20.1 dB	0 dB

外部入力制御 (リモートイン)

パターン切り換えにパターンセレクター PS-VU16 を使用するか、個別選択入力にするかを選択できます。

タイマー制御による自動放送や制御信号に対応した放送パターン自動選択システムなどに利用できます。

(工場出荷時：個別選択モード)

外部出力制御 (リモートアウト)

パターンごとに外部制御出力の ON/OFF を設定できます。出力は、オープンコレクター (最大電圧 =35 V、最大許容電流 =30 mA) です。制御する機器の仕様に十分注意してください。

(工場出荷時：すべて OFF)

パターンメモリー

最大 16 種類の設定されたパラメーターをパターンメモリーに記憶します。

(工場出荷時は 16 パターンすべてが工場出荷時の値に設定されています。)

システム設定準備の手順

ご注意

- 「サウンドコーディネーター」のインストールメニュー表示時、ユーザズガイド閲覧時に、セキュリティ保護のための警告画面が表示される場合があります。画面上のボタン操作を行えるように、下記のように対応を行なってください。
 - アクティブコンテンツの警告画面が表示された場合、[はい] をクリックしてください。
 - スクリプトや ActiveX の制限画面が表示された場合、[ブロックされているコンテンツを許可] をクリックしてください。

Step1 「インストールガイド」を読む。
サウンドコーディネーターや USB ドライバーのインストール方法などが記載されています。インストールする前に必ずお読みください。
※「インストールガイド」は、本機付属の CD-ROM に収録されています。

Step2 「サウンドコーディネーター」をインストールする。
デジタルエフェクト機能などのパラメーター設定を行うには「サウンドコーディネーター」をインストールします。

Step3 USB ドライバーをインストールする。
パソコンと本機を USB 端子で接続する場合に、USB ドライバーをインストールします。

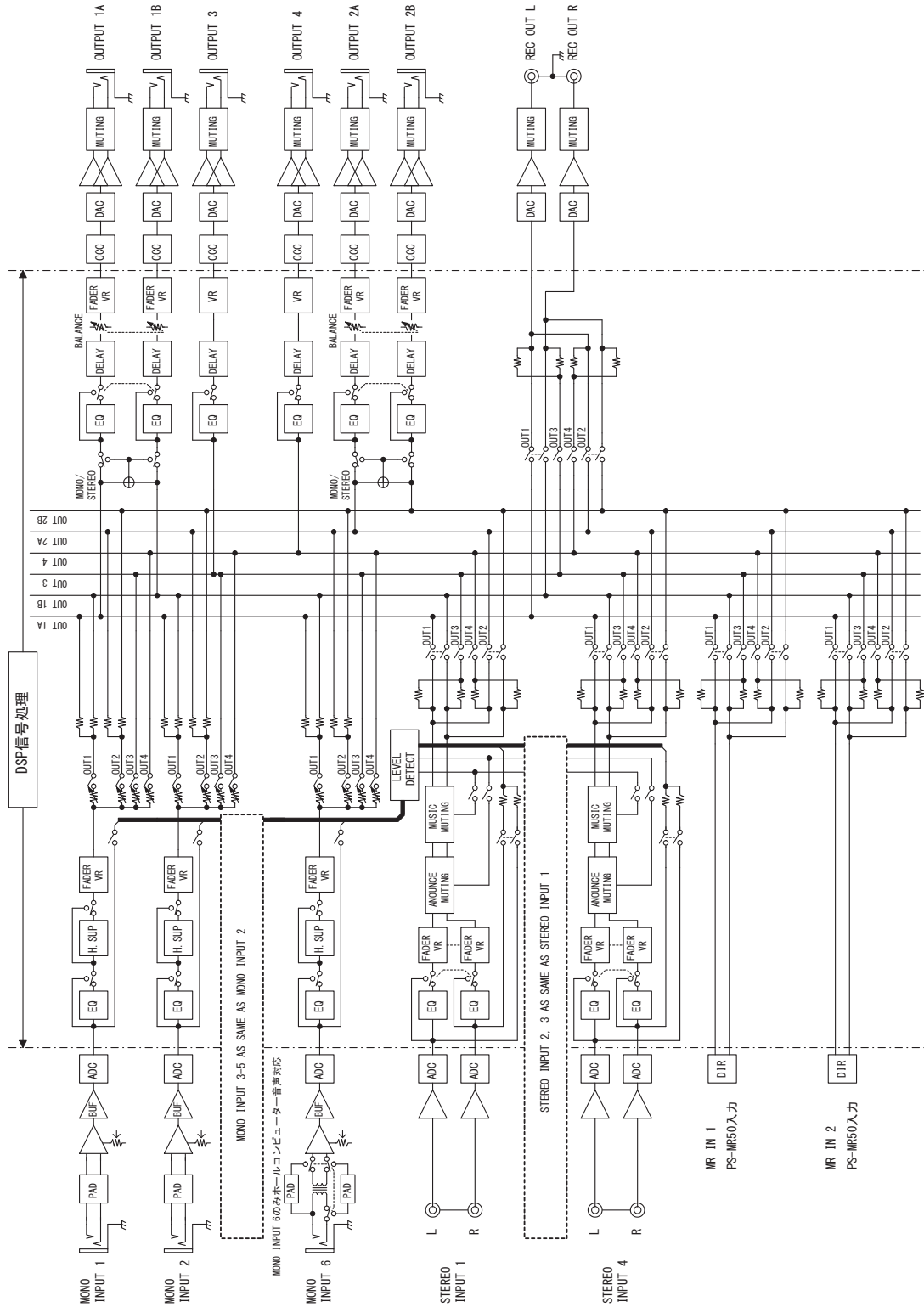
Step4 「ユーザズガイド」を読む。
デジタルエフェクト機能のパラメーター設定方法などの詳細が記載されています。設定を行う前に必ずお読みください。

Step5 「サウンドコーディネーター」を起動する。
本機の設定を行うときに起動します。

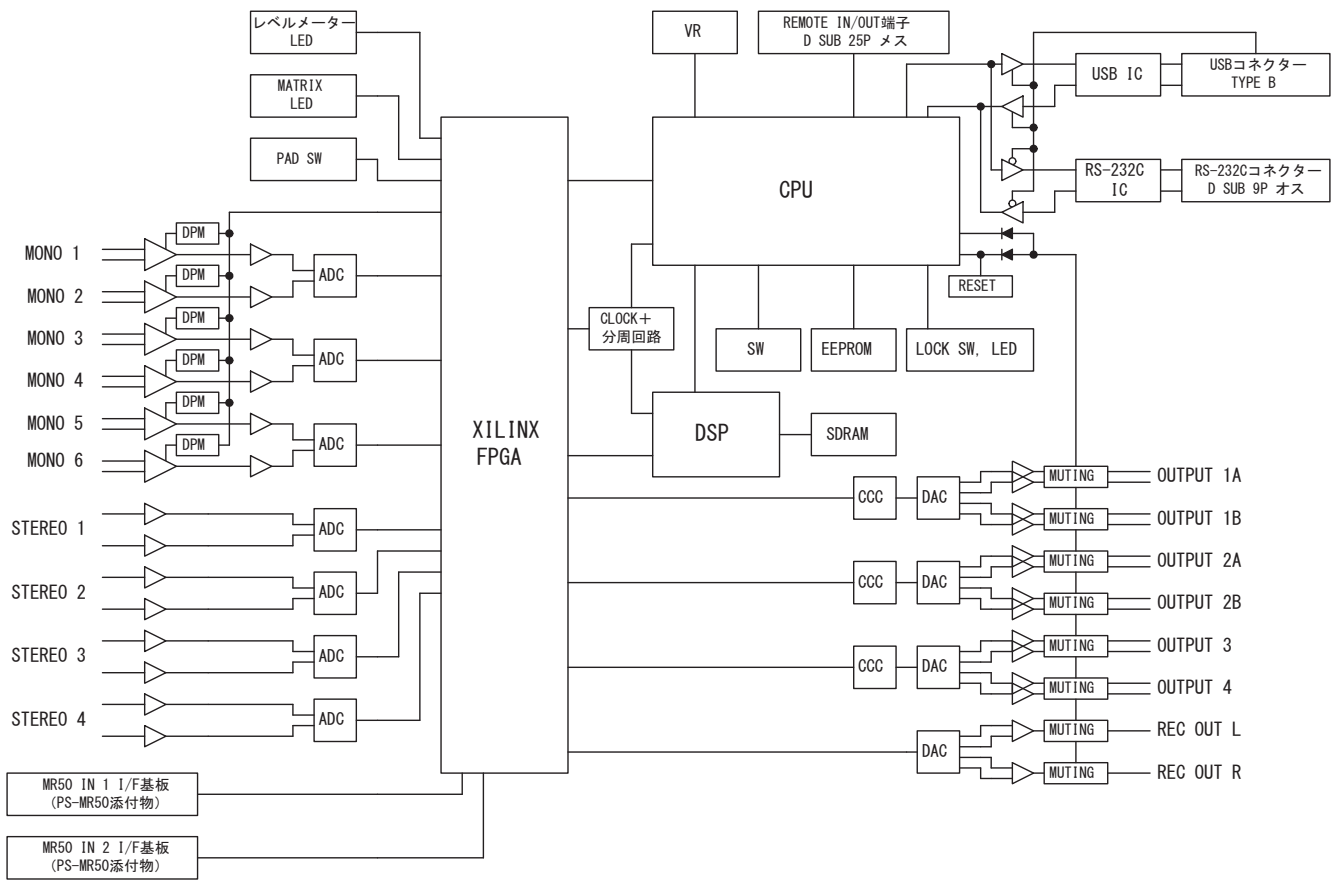
システム設定準備終了

ブロック図

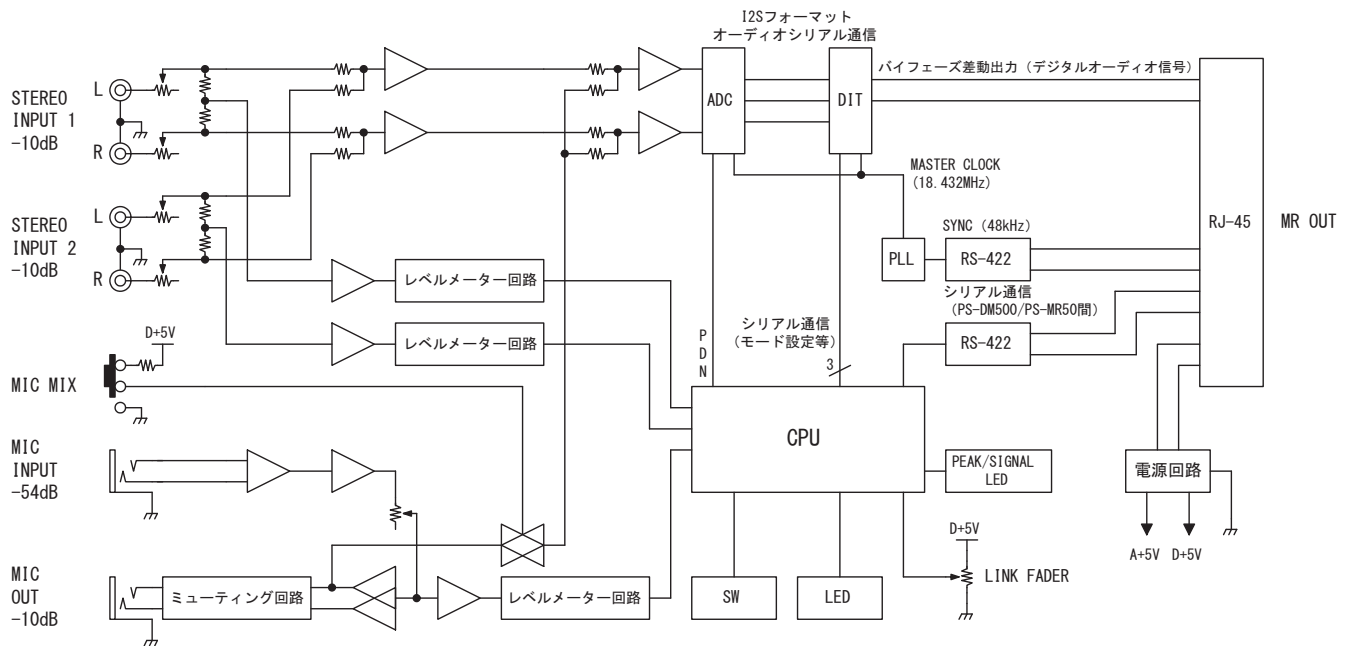
■ PS-DM500 オーディオ信号処理
ブロックダイアグラム



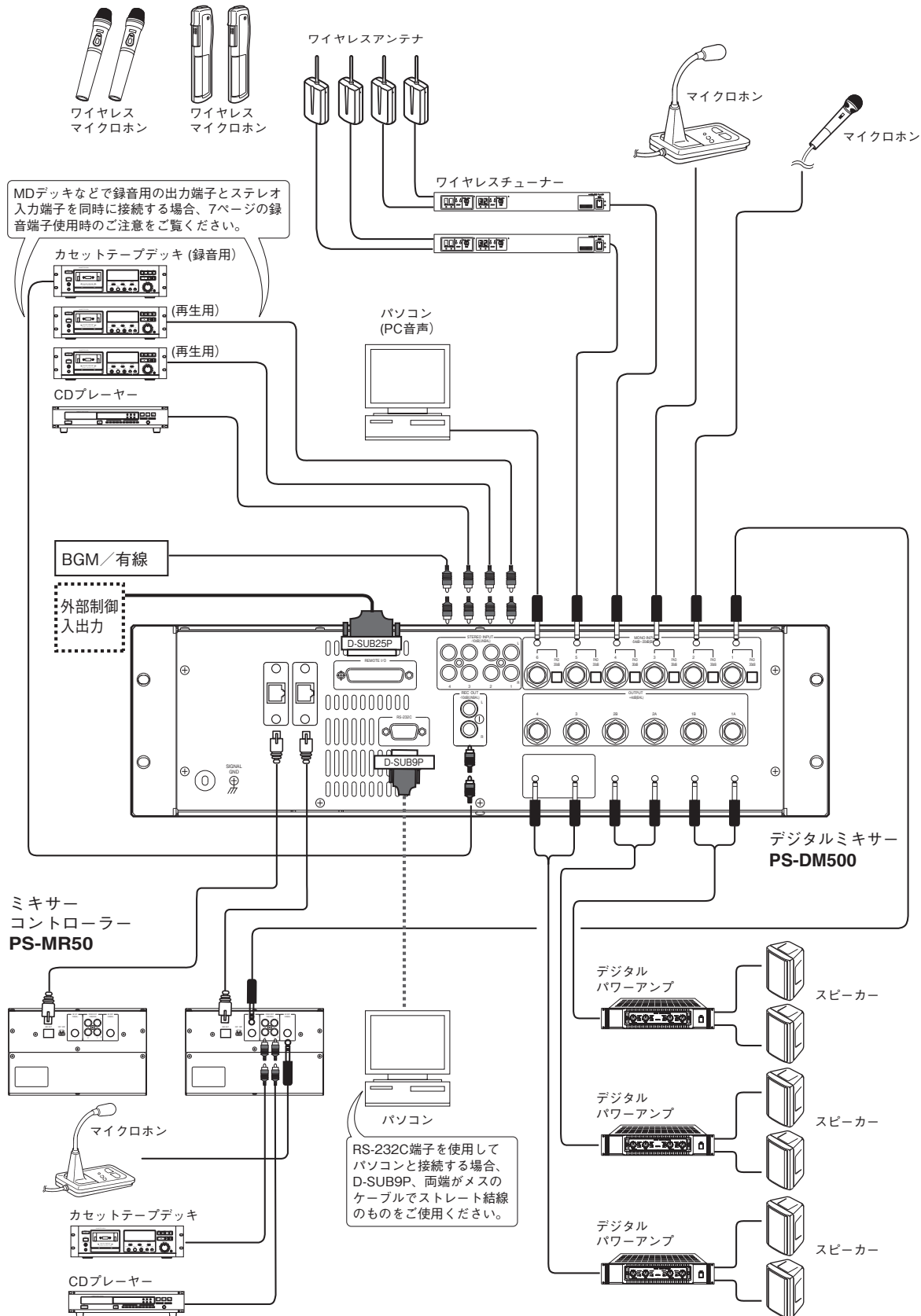
■ PS-DM500 ブロックダイアグラム



■ PS-MR50 ブロックダイアグラム



システム接続例



仕様

デジタルミキサー (PS-DM500)

0 dB=0.775 Vrms

■ モノラル入力部

MONO INPUT 1 ~ 5 : -54 dB ~ -30 dB \pm 3 dB, 2.2 k Ω
(PAD (30dB) 電子平衡 (複式フォンジャック))
MONO INPUT 6 : -54 dB ~ -30 dB \pm 3 dB, 10 k Ω
(PAD (30dB) トランス平衡 (複式フォンジャック))
INPUT TRIM : -54 dB ~ -30 dB

INPUT EQ (イコライザー)

LOW : シェルビング、カットオフ周波数 :
40 Hz ~ 2 kHz (1/6 oct Step)
MID : ピーキング、中心周波数 :
40 Hz ~ 18 kHz (1/6 oct Step)
HIGH : シェルビング、カットオフ周波数 :
2 kHz ~ 18 kHz (1/6 oct Step)

ハウリングサプレッサー : 4 素子プリセットフィルター、
2 素子アクティブフィルター

■ ステレオ入力部

STEREO INPUT : -10 dB \pm 3 dB, 10 k Ω
1 ~ 4 (ステレオピンジャック)

INPUT EQ (イコライザー)

LOW : シェルビング、カットオフ周波数 :
40 Hz ~ 2 kHz (1/6 oct Step)
HIGH : シェルビング、カットオフ周波数 :
2 kHz ~ 18 kHz (1/6 oct Step)

■ ミキサーコントローラー PS-MR50 入力部

MR IN1, MR IN2 : 複合入力 2 回路 (RJ-45)

■ 出力部

OUT1 ~ 4 : +4 dB \pm 3 dB 10 k Ω ,
電子平衡 (複式フォンジャック)

OUTPUT 形式

OUT1、2 : ステレオ / モノラル出力形式選択
OUT3、4 : モノラル出力
REC OUT L/R : -10 dB \pm 3 dB, 10 k Ω ,
不平衡 (ステレオピンジャック)

OUTPUT EQ (イコライザー) : 6 素子
ピーキング、
中心周波数 : 40 Hz ~ 18 kHz
(1/6 oct Step)
ローカット (LCF)、カットオフ周波数 :
40 Hz ~ 18 kHz (1/6 oct Step)
ハイカット (HCF)、カットオフ周波数 :
40 Hz ~ 18 kHz (1/6 oct Step)
LOWシェルビング、カットオフ周波数 :
40 Hz ~ 18 kHz (1/6 oct Step)
HIGHシェルビング、カットオフ周波数 :
40 Hz ~ 18 kHz (1/6 oct Step)

OUTPUT 1、2 : OUT1 A・B、OUT2 A・B :
バランス 0 dB ~ -20 dB

OUTPUT : LED 6 素子 \times 2 (OUT1、2)
レベルメーター 2 色 LED \times 2 (OUT3、4)

DELAY TIME : 0 ms ~ 300 ms (1ms Step)

■ 総合仕様

周波数特性

MONO INPUT : 100 Hz ~ 10 kHz +0.5 dB、-3 dB
(1 kHz 基準)

STEREO INPUT : 20 Hz ~ 20 kHz +0.5 dB、-1 dB
(1 kHz 基準)

入力換算雑音 : -120 dB 以下
(MONO IN/OUT、IHF-A、150 Ω 短絡)

残留雑音 : -80 dB 以下
(OUT1~4、DIN-A、全フェーダー最小)

クロストーク : 各入力、出力間において -60 dB 以下
(7 kHz)

ミュート機能 : アナウンスミュート機能、
ミュージックミュート機能

外部入出力端子 : 入力 = 8 系統、
出力 = 8 系統 (D-SUB25P)

パソコン接続端子 : USB : 1.1、RS-232C (D-SUB9P)
同時使用は不可

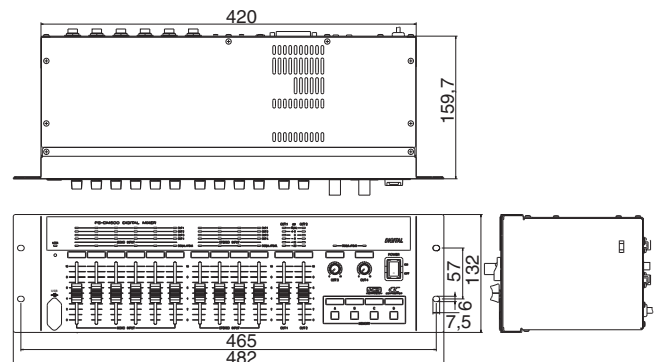
電源・消費電力 : AC100 V 50 Hz/60 Hz、26 W
許容動作温度 / 許容動作湿度 : 5 $^{\circ}$ C ~ 40 $^{\circ}$ C / 30 % ~ 80 %

外形寸法 : 482 mm \times 132 mm \times 159.7 mm
幅 \times 高さ \times 奥行き

質量 : 4.8 kg

添付物・付属品 : 取扱説明書 (本書) \times 1
CD-ROM \times 1
保証書 \times 1
安全上のご注意 \times 1
ラックマウントねじ (M5) \times 4
フット \times 4

■ 外形寸法図 (単位 : mm)



※ 本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

※ 本機は「高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品」です。

ミキサーコントローラー (PS-MR50/ 別売)

0 dB=0.775 Vrms

■ 入力部

MIC INPUT : -54 dB ± 3 dB 2.2 kΩ、電子平衡
(複式フォンジャック)
STEREO INPUT : -10 dB ± 3 dB 10 kΩ、2 回路
(ステレオピンジャック)

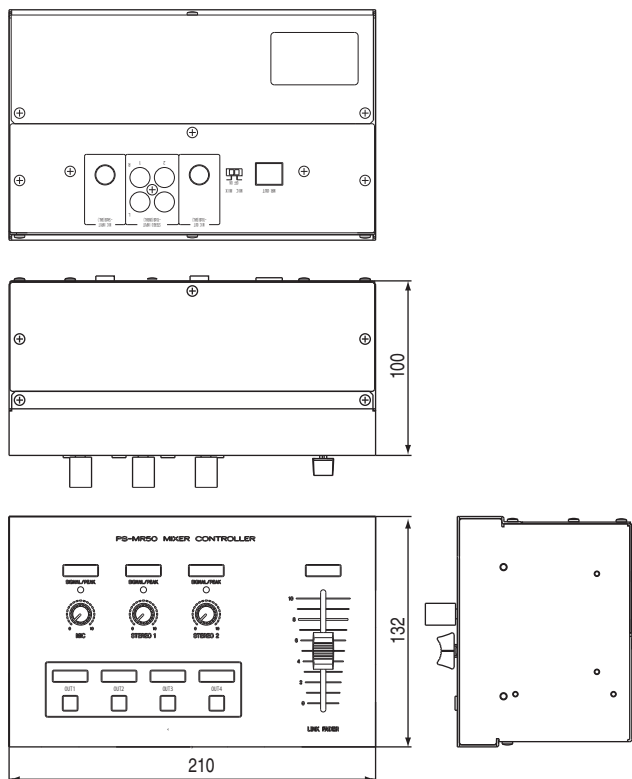
■ 出力部

デジタル通信出力 : AUDIO : AES3、SYNC、DATA
(PS-DM500 接続端子) (RJ-45)
MIC OUT : -10 dB ± 3 dB 10 kΩ、電子平衡
(複式フォンジャック)

■ 総合仕様

電源 : デジタルミキサー (PS-DM500) より
供給、DC+16 V
外形寸法 : 210 mm × 132 mm × 100 mm
幅×高さ×奥行
質量 : 1.4 kg
添付物・付属品 : 保証書×1
設置説明書×1
ブラケット×2
スクリュー (M3) 黒色×4
ウッドスクリュー (呼び径 3) ×4
I/F 基板×1
ワイヤー ASSY×1
ワイヤー クランプ×2
スクリュー (M3) 銀色×2
フット×4

■ 外形寸法図 (単位 : mm)



※ 本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため
予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料で修理いたします。

サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。
https://jkpi.jvckenwood.com/support/repair_department.html
- ・業務用修理窓口 (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名 (型名) : デジタルミキサー (PS-DM500)
ミキサーコントローラー (PS-MR50)

お買い上げ日 :

故障の状況 : 故障の状態をできるだけ具体的に

ご住所 :

お名前 :

電話番号 :

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>